令和３年度　学校自己評価（職員）　集計結果

よくできている：４　できている：３　あまりできていない：２　できていない：１

4段階評価平均の　3.1以上：Ａ　2.8以上：Ｂ　2.6以上：Ｃ　2.5以下：Ｄ　とした。

『共通項目』　令和3年1月実施

領域		評価の観点	評価項目	実践目標	平均	評価
学校運営	共通項目	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	県農だよりの発行、ホームページの活用で、保護者や地域へ幅広く情報を提供する。	3.5	A
			積極的な学校運営の推進	学校評議員や地域住民から意見を聴取し、それを学校運営に役立てる。	3.0	A
			学校施設や教育資源の地域への開放	地域の幼児や園児及び老人会の方々に学校施設や学校園を開放 し、異世代間の交流を図る。	2.8	B
		生徒指導	生徒の内面理解を図る指導の工夫	個人面談や面談週間を実施すると共に、カウンセリング研修等を実施し、生徒の内面理解を図る。	3.4	A
			生徒の自主自立の育成	生徒会行事は、生徒が企画・運営できるよう支援する。	3.1	A
			いじめの防止	「兵庫県立農業高等学校いじめ防止基本方針」に基づき、計画的にいじめ対策に取り組み、組織的対応を行う。	3.2	A
		進路指導	進路指導体制の充実	学年・学科・教科・各部との連携を密にし、面接指導や作文及び小論文指導、資格取得指導の充実、更には学科の特色を生かした進路実現を図る。	3.2	A
			職業観・勤労観の育成 と進路意識の向上	卒業生によるキャリアガイダンス、進路講演会、職場体験実習を計画的に実施し、主体的な進路選択と進路指導を支援する。	3.2	A
		教職員の資質向上	実践的指導力の向上	全教科での公開研究授業の実施、関連機関との情報交換、新しい学習方法や技術を習得できる機会を増やし、職員の指導力の向上を図る。	2.9	B
			社会の変化に対応した教育観の育成	学校の諸課題についての校内研修の実施や、職員の研修報告を共有し、社会に対応し、今日的な問題解決能力を身につける。	2.9	B
		危機管理体制の整備	家庭・地域・関係機関と連携した危機管理	家庭・地域・関係機関との連携を密にし、不審者情報等の共有及び広域からの通学生に応じた危機管理体制を推進する。	3.1	A
			教員の実践的な研修	マニュアルに基づき、危機的事態への対応法及び訓練、AED研修等を行う。	3.3	A
	選択項目	学校運営全般	校務分掌	それぞれの分掌における重点目標を年度当初に設定し、適宜、取組について、評価・見直しを行う。	3.3	A
		PTCA活動	PTCAとの連携	「県農祭」や「一斉登校指導」等へのPTCAの積極的な参加協力を図り、学校との連携を深める。	3.1	A
教育課程	共通項目	自ら学び・考える力の育成	体験的・問題解決的な学習の推進	様々な体験学習や「課題研究」等を通して、問題解決的な学習を推進する。	3.6	A
		個に応じた学習指導の徹底	指導方法と評価方法の創意工夫	個に応じた学習指導と観点別評価に基づいた評価規準による評価・評定を実施し、指導方法の工夫を行う。	3.3	A
			魅力と規律ある授業の実践	シラバスの充実を図り、科目の選択指導の改善と学習目標を明確にした授業の充実を図る。	3.3	A
	選択項目	特別活動	生徒の主体的な活動の支援	農業クラブ及び生徒会活動を活性化し、大会参加やボランティア活動など、生徒が主体的に活動できるよう支援する。	3.5	A
		学校行事	学校行事の充実	「体育大会」や「県農祭」など行事の充実を図るとともに、生徒の学習発表の場を広める。	3.4	A
課題教育		防災・安全教育	教員の防災教育に係る指導力実践力の向上	日頃から教員が防災について高い意識を持ち、授業での安全指導や危険箇所の点検・修理・更新を適時行い、意識の高い防災訓練を行う。	3.3	A
			農場の安全管理の徹底	実験実習時の安全指導（安全心得、実習着、安全操作技術、機械や備品類の点検・整備・管理）と農薬、薬品の安全な取扱い、家畜の衛生管理を徹底・強化する。	3.4	A
		人権教育	確かな人権意識の育成	研修会等で得た情報を職員間で共有し、あわせて身近な人権問題を教材とした人権教育を実施することにより、人権意識の高揚を図る。	3.0	B

『選択項目』

領域		評価の観点	評価項目	実践目標	平均	評価
課題教育		情報教育	情報活用能力の育成	「農業情報処理」や「課題研究」を中心に生徒の情報活用能力の育成、人権尊重を基盤とした情報モラルの育成を図る。	2.8	B
		国際理解教育	他国の歴史や文化及び農業の理解	本校独自の相互訪問研修を実施し、他国の歴史・文化・農業・生活習慣等を学び、国際的視野を広げる。	2.4	D
		環境教育	環境教育の推進	ゴミ・リサイクル・省エネルギーなど環境問題に対する意識向上と学校の環境美化を促進する。	2.8	B

『学校独自項目』

領域		評価の観点	評価項目	実践目標	平均	評価
学校運営		学校運営全般	専門教育の充実	専門教育の学習指導の充実を図るとともに、生徒の意欲的な活動を支援し、学校の活性化を図る。	3.3	A
		生徒募集	学校説明会の実施	体験学習や中学校訪問及び本校独自の入試説明会などを通して、興味関心・意欲のある生徒を確保する。	3.2	A
課題教育		学校の個性化・多様化	地域連携教育の推進	地域の関係機関と連携した地域特産品づくりへの支援活動や県農ブランド製品の開発を推進する。	3.5	A
			職業体験学習の推進	全学科、農場日直当番などを通して、「命」を大切にし、共にはぐくむ体験学習を行う。	3.5	A
			他校種連携の推進	地域の幼・小・中学校及び農業大学校との交流学習及び連携を図り、共に学び生きる力をはぐくむ。	3.4	A
			農業従事者及びスペシャリストの育成	専業先進農家（卒業生）の見学会及び交流会などを通して、農業従事者としての資質を養成し、経営者としての意欲を高める。	3.2	A